

文書主	相	係	竹ノ子	職務主任	高田	副校長	伊藤	校長	相
-----	---	---	-----	------	----	-----	----	----	---

令和七年七月七日

各市町村立小・中学校長殿 県立各高等学校長殿
各支援学校長殿 私立各中・高等学校長殿
各書塾長殿

岩手県書写書道教育研究会会長 八木橋 哲男
盛岡市盛岡駅前北通一一〇
電話・FAX〇一九一六三二一三〇三

第五十四回岩手県小・中・高校書写書道作品募集について（お願い）

各位におかれましては例年書写書道作品コンクールにご高配をいただきまして、誠にありがとうございます。
本年も書写書道教育の振興と発展を願ひ、書写書道作品を募集することとしました。
つきましては左記の募集要項をご確認のうえ、多数出品くださいますようご案内申し上げます。

書写書道作品コンクール募集要項

- ◎主催 岩手県書写書道教育研究会
- ◎後援 岩手県 岩手県教育委員会 岩手県市町村教育委員会協議会 盛岡市 盛岡市教育委員会 吉丸正夫先生ご遺族 岩手県書写書道教育研究協議会 岩手県芸術文化協会 岩手書道協会 NDK盛岡放送局 IBC岩手放送 岩手日報社
- ◎募集作品 硬筆作品・毛筆作品

- ・用紙規格 硬筆 B5版 白上質紙 小学校低・中・高学年・中学校とも本会指定の添付用紙の規格による。毛筆 半紙（縦三十三・五㎝ 横二十四・五㎝以内のもので、縦に使用）
- ・課題 小・中学校は裏面の課題のとおり、高校は毛筆半紙のみ 課題自由
課題作例・練習用紙等は、裏面二次元コードからダウンロードできます。
- ・書体 小学校は楷書 中学校は楷書または行書 高校は自由
- ・硬筆用具 小学校・中学校とも黒のフェルトペン等。（水性が望ましい。）鉛筆は認めない。
- ・出品点数 硬筆・毛筆一人各一点 学校から出品すれば塾等からは出品できない。また塾等から出品すれば学校からは出品できない。個人での出品はできない。

- ◎出品料 1 硬筆・毛筆とも一点につき五百円（本会には四百五十円を作品発送時にご送金下さい。五十円は事務処理費等に使用して下さい。）
- 2 出品料は必ず郵便振替で（口座番号：〇三六〇一五八三七 加入者名：有限会社岩手県書写書道教育研究会）お送り下さい。それ以外の送金は取り扱いません。なお、送金手数料はご負担願います。
- 3 返金の場合には、所定の手数料をご負担願います。

- ◎作品締切 小・中学校 令和七年十一月五日（水）
小・中学校 令和七年十二月三日（水）
締切日の消印有効
- ◎審査 本会役員等・岩手県書写書道教育研究協議会が行う。
令和八年二月中旬までに各中学校長・各書塾長等宛に通知します。
特別賞（岩手県知事賞 岩手県教育委員会教育長賞 盛岡市長賞 盛岡市教育委員会教育長賞等）
推薦 特選 準特選 金賞 銀賞 銅賞
成績が優秀な学校に贈ります。（硬筆・毛筆の出品率と成績率による）
- ◎出品要領 1 作品には硬筆・毛筆一枚ごとに学校名・団体名（ゴム印可）氏名（本人自筆）を明記して下さい。なお氏名が出品目録と異なる場合には、左欄外に正規の氏名を鉛筆で必ず書いて下さい。（ひらがなで書いてください）

- 2 硬筆・毛筆作品の氏名の下に下記例の様鉛筆で学年順に全体の通し番号を記入して下さい。
- 3 作品は、募集要項添付の出品目録の通し番号順にならべ、出品目録を添えて出品して下さい。出品目録が不足の場合にはコピーをして記入下さい。
- 4 支援学校・書塾等の出品目録は、小・中・高校別に記入して下さい。
- 5 出品目録を、岩手書道協会ホームページ、または裏面二次元コードからダウンロードして作成してもよいです。なお、出品の際には、作成した目録をB4サイズの用紙に印刷して作品と一緒に提出してください。
- 6 目録の氏名と作品の氏名の字体が一致するようにしてください。
（例：「鈴」と「鈴」や「令」と「令」や「凛」と「凛」など）

- ◎展示 令和八年三月十九日（水）～二十一日（金）まで 盛岡市民文化ホールリオスに特別賞・推薦・特選までの優秀作品を展示します。
- ◎作品集 特別賞・推薦・特選に入賞した優秀作品の写真と名簿を掲載した優秀作品集を展示会場で頒布します。
- ◎その他 1 作品は本会にご寄贈下さい。
- 2 賞状記名は誠に恐れ入りますが、出品目録により応募校・書塾等でご記入下さるようお願いいたします。
- 3 硬筆用紙は本会指定の枠を印刷した用紙を左記、取扱店で頒布します。
なお、別紙「賞状揮毫者紹介申し込みについて」で、賞状記名を希望された学校には、記名者を紹介します。

取扱店「佐々長商店 盛岡市仙北一丁目一四一二（電話〇一九一六三六〇九二七）
一冊百枚綴り三百三十円（消費税込み）送料実費
事務局 〒二〇一〇〇三三 盛岡市盛岡駅前北通一一〇 橋市盛岡ビル二階 岩手県書写書道教育研究会 宛
電話・FAX 〇一九一六三二一三〇三 メールアドレス (syosyo03@bz01.plala.or.jp)





- ・出品目録
- ・課題
- ・指導留意見
- ・練習用紙

※印刷の用紙設定は、毛筆課題はB、硬筆課題はB5にしてください。

学年	一年	二年	三年	四年	五年	六年	中一	中二	中三
課題	うた	にわ	水	走れ	風雨	発展	思考	創造	進歩

※毛筆半紙の部

※硬筆の部

小一年

山	の	み	の	み	の	上	の	住
から	上	え	ほ	も	に	に	上	ん
川	か	ま	う	み	は	は	ウ	ん
が	ら	す	に	え	、	キ	と	で
	お	。と	は	ま	ヨ	ウ	い	い
	く	は	、	し	リ	リ	う	ま
		田	地	球	の	の	動	し
		ん	球	の	二	二	物	た
			年	億	億	年	が	。

小四年

今	の	住
から	の	ん
二	む	ウ
億	か	と
年	し	い
も	、	ま
	地	し
	球	た
	の	。

大陽 太陽をひとつふとちへいれたい
八木重吉
このひらへらせてみたり
このかしてみたり
腹かたつたら投げつけたりしたい
まゝくなくて
あかくなつて落ちてゆくのをみていた
大陽がひとつほしくなつたのをみていた

小二年

は	が	た
つ	や	。
日	き	新
の	は	し
光	は	い
が	じ	年
か	め	の
	ま	は
	し	

中二年

つじの花 若葉した山の所々に
火のように燃えている つじの花
春の機も出そろつた
あかむい襟袖ではちみつびんに
レツテルをほつていた
げんげの花のみつであつた
家の中で時計が十一時を打つた
田中冬二

小三年

達	の	み
く	れ	ま
に	い	し
海	に	。
岸	見	空
線	え	を
が	ま	す
	ま	い
	し	大
	こ	

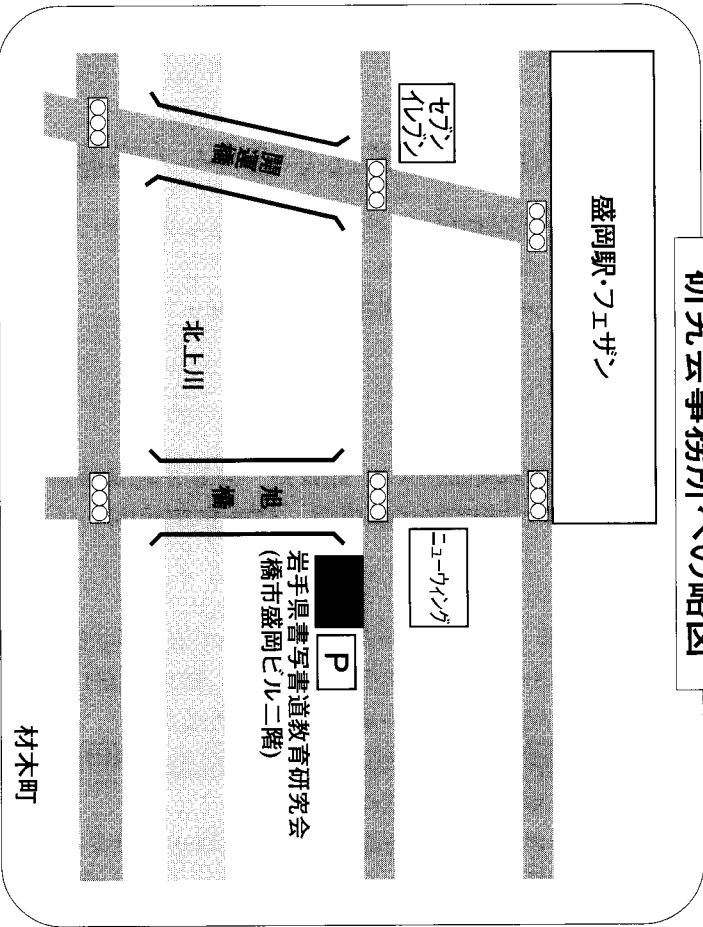
小六年

この地球上で、人間だけが、
自然の資源を思う存分利
用したり、自然を改造したり
するちえと力とを備えた生
物なのである。

中三年

花は花として笑いもできる
人は人として涙も流す
それが自然の歌なのさ
心の中に心に花を咲かそうよ
泣きなきい笑いなさい
花を咲かそうよいつの日か
喜納昌吉

研究会事務所への略図



※ 駐車場は当研究会に所用のある方のみ短時間の利用が可能です

岩手県書写書道教育研究会

〒020-0033
盛岡市盛岡駅前北通1-10
橋市盛岡ビル二階

電話・FAX 019 (622) 1303

作品受付 平日 午前10時～午後4時

(土・日・祝祭日は除く)

小一年 山の上から川が
みえます。とおく
のほうには、田ん
ぼもみえます。

小二年 かがはつ日の光が
た。新しいうす。
じまりです。

小三年 遠くに海岸線が
きれいに見えまし
きた。わたりは、大
きく空気をすいこ
みまし。

小四年 のおかし、地球の
上には、キヨウリ
エウと、動物が
住んでいました。

小五年 われわれが使っている日本
語には、もともと日本で使
てきた言葉(和語)のほかに、
外国からとり入れて日本語と
した言葉がある。

小六年 この地球上で、人間だけが、
自然の資源を思う存分利
用したり、自然を改造したり
するちえと力を備えた生
物なのである。

中一年 太陽をひとつふとこへ、いれて、たい
てのひらへ、のせてみたり
ころがしてみたり
腹がたったら、投げつけたり、たい
まるくなくて
あかくなつて落ちてゆくのをみていたら
太陽がひとつほしくなつた

太陽
八木重吉

中二年 ついでの花 田中冬二
苔葉した山の所々に
火のように燃えているついでの花
麦の穂も出そろつた
あかるい縁側ではちみつのびんに
レソテルをはっていた
げんげの花のみつであつた
家の中で時計が十一時を打つた

中三年 花は花として笑ひもできる
人は人として涙も流す
それが自然の歌なのだ
心の中に心に花を咲かそうよ
泣きながら笑ひながら
いつの日か、いつの日か
花を咲かそうよ

花
喜納昌吉

備考 1、小五・六年の一行の字数は、参考手本の通り
でなく、多少移動があつてもよい。
2、中学校は、行書体でもよい。文字の配置は作
例通りとする。
3、許容については、教科書に準拠する。

小一年

了

小二年

に

小三年

水

小四年

走

小五年

風雨

小六年

発展

中一年

思考

中二年

創造

中三年

進歩の科学

備考 1、中学校は、楷書・行書体どちらでもよい。

2、許容については、教科書に準拠する。

左記のように書いてもよい

方向 どちらでもよい

